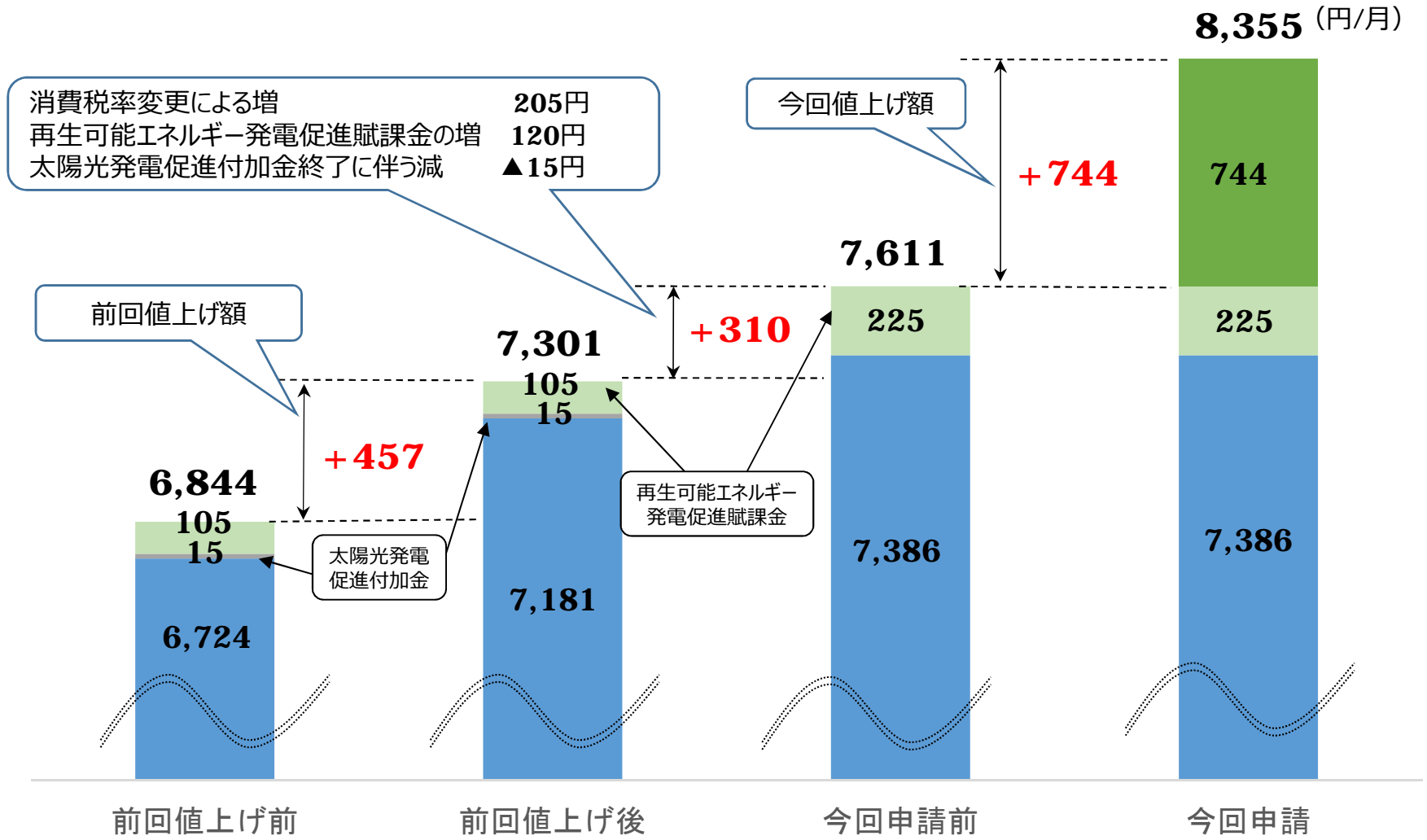


【参考】従量電灯 A の平均的なモデル料金の推移



※算定条件：従量電灯 A、月間ご使用量300kWh、口座振替割引を適用
 ※実際の値上げ実施日・料金等は、経済産業大臣の認可を受けて決定されます。

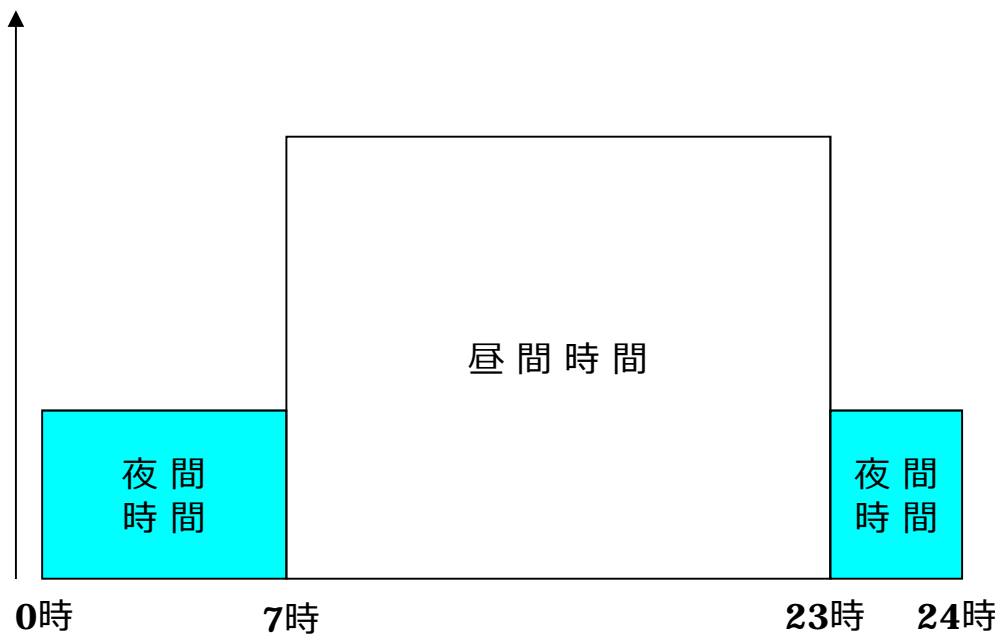
【参考】規制分野の料金メニュー（主な選択約款〔時間帯別電灯〕）

○ご使用になる時間帯によって電力量料金単価が異なり、割安な時間帯に電気のご使用を移行していただく等、電気の効率的な使用により、電気料金の削減につなげていただくことができるメニューです。

時間帯別電灯

(円/契約、円/kVA、円/kWh)

(単価)



		現行単価	届出予定単価
基本料金	最初の10kVAまで	1,188.00	1,188.00
	10kVAをこえる 1kVAにつき	388.80	388.80
電力量料金	昼間時間	最初の90kWhまで	22.72
		90kWhをこえ 230kWhまで	29.67
		230kWh超過	33.91
	夜間時間	11.07	13.55

※現行単価および届出予定単価には、燃料費調整単価を含めておらず、消費税等相当額を含みます。

※時間帯別電灯は、平成26年12月24日に申請した電気供給約款の認可内容に応じて料金やその他変更内容を見直し、経済産業大臣に届け出る予定です。

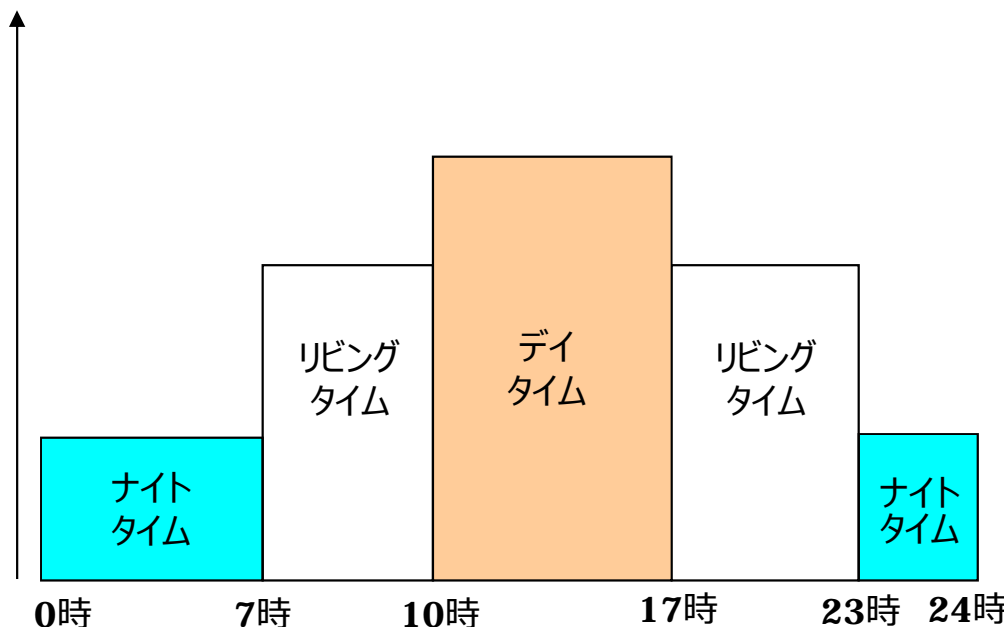
【参考】規制分野の料金メニュー（主な選択約款〔はぴeタイム〕）

○ご使用になる季節や時間帯によって電力量料金単価が異なり、割安な時間帯に電気のご使用を移行していただく等、電気の効率的な使用により、電気料金の削減につなげていただくことができるメニューです。

はぴeタイム

(円/契約、円/kVA、円/kWh)

(単価)



		現行単価	届出予定単価
基本料金	最初の10kVAまで	2,160.00	2,160.00
	10kVAをこえる1kVAにつき	388.80	388.80
電力量料金	デイタイム	夏季	36.86
		その他季	33.51
	リビングタイム		25.29
	ナイトタイム		11.07

※デイタイムは平日（月～金曜日）に設定。休日扱い日（土日祝日等）の7時～23時はリビングタイムとなります。

※夏季は7月1日～9月30日、その他季は10月1日～翌年の6月30日です。

※現行単価および届出予定単価には、燃料費調整単価を含めておらず、消費税等相当額を含みます。

※はぴeタイムは、平成26年12月24日に申請した電気供給約款の認可内容に応じて料金やその他変更内容を見直し、経済産業大臣に届け出る予定です。

【参考】規制分野の料金メニュー（主な選択約款〔季別電灯P S〕）

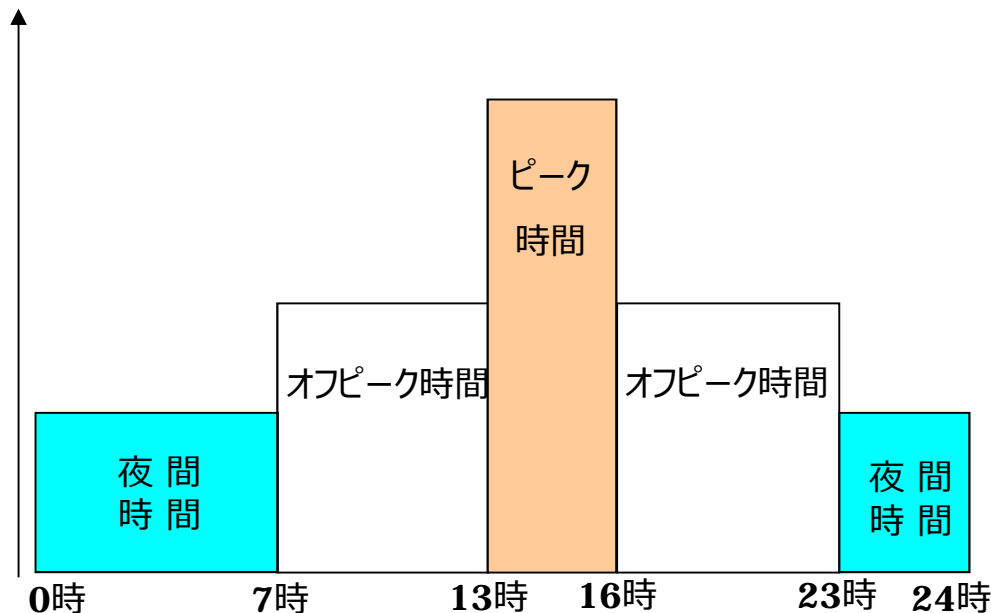
○夏のピーク時に対応する「ピーク時間」と、それ以外の「オフピーク時間」「夜間時間」に時間帯を区分しており、「ピーク時間」から「オフピーク時間」および「夜間時間」へ電気のご使用を移行していただく等、電気の効率的な使用により、電気料金の削減につなげていただくことができるメニューです。

季別電灯P S

平成24年7月設定

(円/契約、円/kVA、円/kWh)

(単価)



		現行単価	届出予定単価	
基本料金	最初の10kVAまで	1,188.00	1,188.00	
	10kVAをこえる1kVAにつき	388.80	388.80	
電力量料金	ピーク時間	58.67	61.15	
	オフピーク時間	最初の90kWhまで	21.92	24.40
		90kWhをこえ230kWhまで	28.62	31.10
		230kWh超過	32.77	35.25
夜間時間		11.07	13.55	

※ピーク時間は夏季平日（7月1日～9月30日）に設定。

※現行単価および届出予定単価には、燃料費調整単価を含めておらず、消費税等相当額を含みます。

※季別電灯P Sは、平成26年12月24日に申請した電気供給約款の認可内容に応じて料金やその他変更内容を見直し、経済産業大臣に届け出る予定です。

【参考】自由化分野の主な料金メニューの値上げ影響額の例

○自由化分野のお客さまの値上げ影響額は以下のとおりです。

高圧で契約電力が500kW以上のお客さま

○高圧電力A L（商業施設、事務所ビル等のお客さま）

契約電力：820kW

月間使用量：230,000kWhの場合

1ヶ月あたりのご請求金額	
現行	値上げ後
約465万円	約519万円

値上げ額	値上げ率
約55万円	11.8%

○高圧電力B L（工場等のお客さま）

契約電力：900kW

月間使用量：270,000kWhの場合

1ヶ月あたりのご請求金額	
現行	値上げ後
約512万円	約577万円

値上げ額	値上げ率
約64万円	12.5%

高圧で契約電力が500kW未満のお客さま

○高圧電力A S（スーパー、事務所ビル等のお客さま）

契約電力：100kW

月間使用量：16,500kWhの場合

1ヶ月あたりのご請求金額	
現行	値上げ後
約39.4万円	約43.3万円

値上げ額	値上げ率
約3.9万円	10.0%

○高圧電力B S（工場等のお客さま）

契約電力：110kW

月間使用量：26,400kWhの場合

1ヶ月あたりのご請求金額	
現行	値上げ後
約53.5万円	約59.8万円

値上げ額	値上げ率
約6.3万円	11.7%

※電力量料金単価は「その他季」、基本料金は力率100%で算定しております。

※現行および値上げ後のご請求金額には、燃料費調整額を含めておらず、平成26年度における5月分以降に適用する単価で算定した再生可能エネルギー発電促進賦課金を含めております。

※現行および値上げ後のご請求金額には、消費税等相当額を含みます。

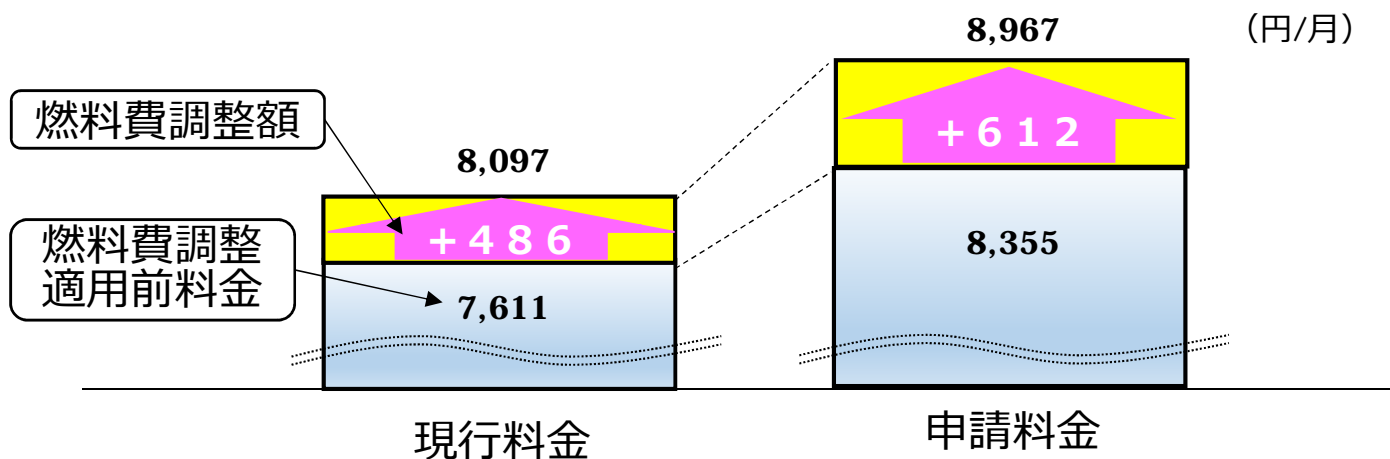
※実際のご請求金額は、燃料費調整額および再生可能エネルギー発電促進賦課金により変動いたします。

13. 燃料費調整の見直し

- 燃料価格の前提は前回値上げと同様（平成24年7月～9月の貿易統計実績）としておりますが、燃料費調整の対象となる輸入燃料（原油・LNG・石炭）の消費数量が前回の値上げの前提から変更となるため、燃料費調整の諸元を見直します。
- その結果、燃料費調整の調整幅は、プラス調整・マイナス調整ともに大きくなります。

ケース①平成26年9月～11月の貿易統計実績による燃料費調整を反映した料金の試算

※試算条件：従量電灯A、月間ご使用量300kWh、
口座振替割引を適用
※消費税等相当額を含む



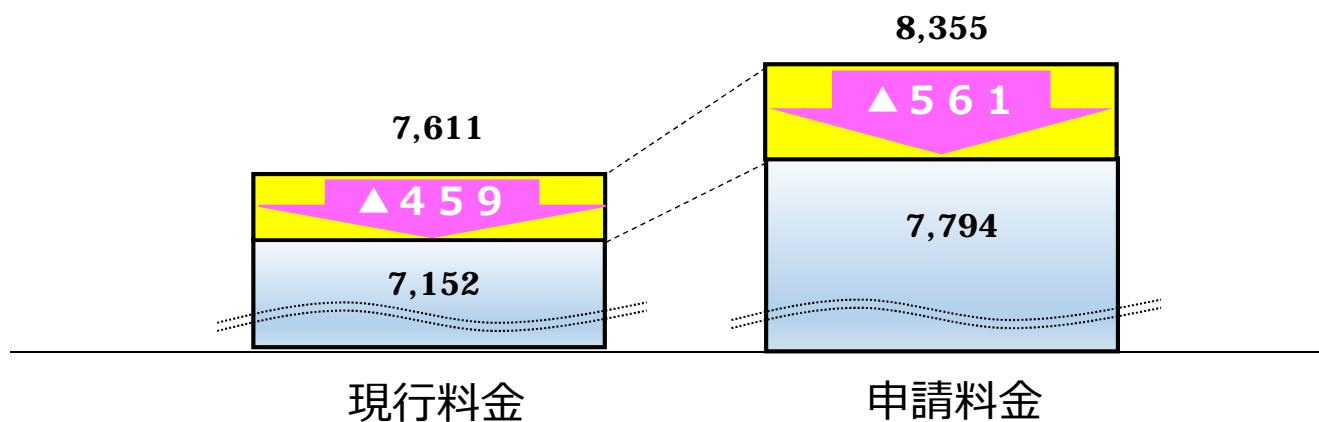
料金原価の前提 = 燃調適用前

原油	105.9 \$ / b
LNG	17.6 \$ / mmbtu
石炭	127.3 \$ / t
為替	78.9円 / \$

ケース①の前提

原油	99.2 \$ / b
LNG	16.0 \$ / mmbtu
石炭	92.7 \$ / t
為替	108.2円 / \$

ケース②至近の原油市況などを踏まえ、一定の仮定を置いて想定した際の料金の試算

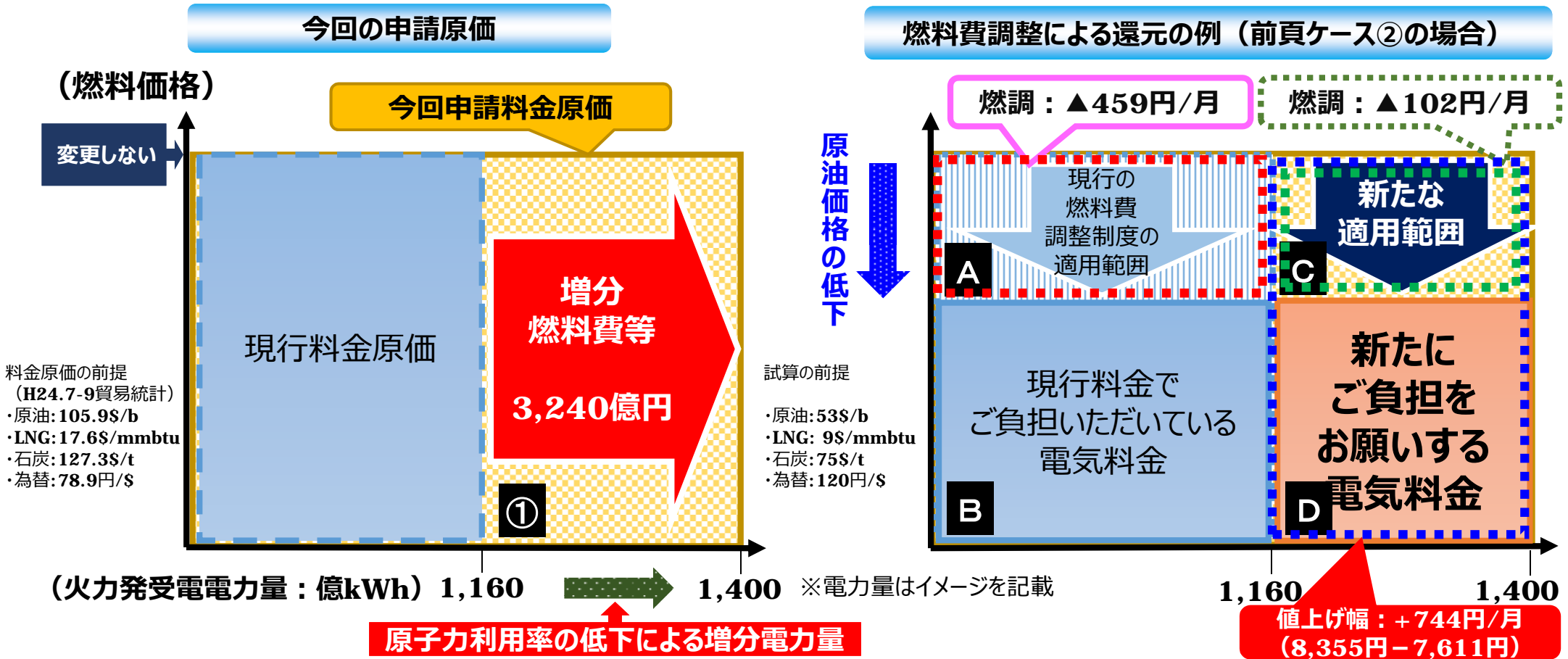


ケース②の前提

原油	53 \$ / b
LNG	9 \$ / mmbtu
石炭	75 \$ / t
為替	120円 / \$

【参考】「今回の電気料金値上げ申請」と「至近の原油価格の下落」について 28

- 電源構成変分認可制度に基づき、原子力プラントの再稼働の遅延に伴う電源構成の変動による増分燃料費等を反映しております。 (= ① = C + D)
- 為替・原油価格等の、料金算定の前提となる諸元（燃料費調整の前提諸元）については、前回改定より変更していません。（105.9ドル/バレル，78.9円/ドル）
- 為替・原油価格等の変動については、燃料費調整制度を通じて、お客さまにご負担いただく電気料金に反映されます。従って、至近の原油価格の低下影響についても、同制度を通じて、電気料金に反映されます。 (= A + C)



			今回申請 (A)	現行 (B)	差 (A - B)
基準燃料価格		円/kl	40,900	38,800	2,100
換算係数	α	-	0.3066	0.2313	0.0753
	β	-	0.2858	0.3006	▲ 0.0148
	γ	-	0.4235	0.5039	▲ 0.0804
基準単価 (税抜・平均)		円/kWh	0.191	0.167	0.024

※電圧ごとの基準単価 低圧：0.196 高圧：0.189 特別高圧：0.186 (税抜、円/kWh)

①基準燃料価格 (40,900円/kl)

- ・基準燃料価格とは、料金設定の前提である原油・LNG・石炭の燃料価格の加重平均値で、燃料費調整における価格変動の基準値です。(今回の値上げ申請は前回値上げと同様、平成24年7～9月の貿易統計実績値によります。)
- ・具体的には、平成27年度の電源構成の変動を加味した当社発受電電力量 (火力) における各燃料の熱量構成比に原油換算比を加味した係数($\alpha \cdot \beta \cdot \gamma$)を算定し、各燃料価格に乘じ加重平均して算出しています。

$$\begin{array}{ccccccc}
 \text{〔算定式〕} & 52,519\text{円/kl} & \times & 0.3066 & + & 71,841\text{円/t} & \times & 0.2858 & + & 10,039\text{円/t} & \times & 0.4235 & = & 40,900\text{円/kl} \\
 & \text{原油価格} & & \alpha & & \text{LNG価格} & & \beta & & \text{石炭価格} & & \gamma & & \text{基準燃料価格}
 \end{array}$$

	熱量構成比 ①	原油換算係数 ②	換算係数 ③ = ① × ②
原油	0.3066	1.0000	0.3066
LNG	0.4085	0.6996	0.2858
石炭	0.2849	1.4864	0.4235
合計	1.0000	-	-

※原油換算係数は、総合エネルギー統計の標準発熱量に基づいて算定しています。

α LNG: 1 l 当たりの原油発熱量 (38,200kJ)
 \div 1 kg 当たりのLNG発熱量 (54,600kJ)

β

γ 石炭: 1 l 当たりの原油発熱量 (38,200kJ)
 \div 1 kg 当たりの石炭発熱量 (25,700kJ)